

令和 6 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

地域サポートセンター

よいどこい

霧島市国分府中町 17 番 8 号

電話 0995-48-8877 fax0995-48-8800

<http://www.yokaanbe.com/>

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー 黒岩・笠口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	5人	2人	15人

前回の改善計画	・職員会議でケアマネジャー(介護支援専門員)と新規のご利用者様の情報の共有をする。 ・ご家族への見学の案内を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・新規のご利用者の窓口になりやすいケアマネジャーから情報をミーティングや文字情報で共有することができていた。 ・ご家族の見学はいつでも受け入れていたが、新規のご家族に具体的に案内をお出しするなど行動することができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	4	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	4	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	1	1	15
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	10	4	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・カンファレンスや職員会議等でご利用者様の情報共有を行えた。・積極的に新規のご利用者様に声を掛け、顔を覚えてもらうように心がけた。・ご家族の見学も受け入れることができた。・新規のご利用者様が安心できる声掛けを心掛けた。・ご本人やご家族の困りごとなどをまずは傾聴するようにした。そのうえで必要としている支援を考え、他の職員と共有するように努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご家族へ見学案内など具体的に行動できなかった。・その方の人となり、人生の歴史、地域とのつながりをもう少し意識して把握できるようにしたかった。・書類上の情報での理解が主になり、実際に対面してからの情報を得ることができなかった。・緊急的な受け入れ時はミーティングもできない。・ご家族と直接話をする機会がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○新規のご利用者との時間をつくる ・1日5分直接関わることを通して、関係を築くことを大事にする。 ・互いに自己紹介し、そこからご本人の様々な情報も得ることができる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー 黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	7人	4人	14人

前回の改善計画	・支援MAPシートの活用は継続する。 - 好きなこと、人、物、場所、得意な事、できる事、したいこと、嫌いな事、苦手な事、したくないこと等知っていることは何でも、みんなもう知っているよね!ということも記入していく。 ・上記の情報を生活の中にも取り入れて、ご利用様が自身の役割や達成感を感じることができる。 ・誕生日企画にも情報を活かすことができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・知り得た情報を支援マップに記載することがまずできなかったことから、マップを活用することもできていないが、職員それぞれが得たその方の～したいという思いを、誕生日会の企画などに反映することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	2	10	3	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	10	3	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	10	3	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	10	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日常生活の中でできることができる環境作り、声掛けのタイミングを工夫している。 ・誕生日会の企画にその人の～したいという思いを実現する企画ができた。 ・ご利用者の行動や言葉を待つことを心掛けている。 ・先回りし過ぎず必要な時に手伝えた。 ・その場で叶えられることはすぐに対応するよう努めた。 ・日々の何気ない会話などからその方の思いを知る事ができるようアンテナをはっていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・支援マップへの記入ができなかった。 ・マップを共有するツールとして生かせていない。 ・実践し、記入する情報を口頭で職員で共有するだけにとどまり、記入し共有することができなかった。 ・自分からその方の～したいという思いを聴きだせていない。 ・例えばその方の得意なことを聞いても、そのまま自分の頭の中にしまいこんだままにしていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者一人一人の声を聴く ・BOシステム(記録入力媒体)の「要望・訴え」の項目に、その人が語った思い、願い、希望、したいこと、してほしくないこと、など職員が感じ取った内容を記録に残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー 黒岩・笠口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	5人	0人	15人

前回の改善計画	・日常的な写真を撮りインスタ、機関紙作りに活用する。 ・MCS(メディカルケアステーション)やLINEに変化した内容を記録し載せる。 ・その人の強みを見つけて朝礼やカンファレンスを活用して職員間で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日常の写真、イベントの写真を残し、機関紙に掲載し、ご利用者やご家族、自社のホームページやFacebookで情報発信することができた。MCSやLINEを用いて記録を残すことができた。 ・その人の強み(ストレングス)がなにか?見つけることと、それに気づくこと、が朝礼やカンファレンスで検討することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	10	3	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	3	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	3	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	13	1	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	4	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・情報共有で用いているSNS(LINEやMCS)で、モニタリングで得た情報や、変化があったこと等を共有できた。 ・日常の様子、光景を写真に残し、毎月発行している機関紙に記事として掲載することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日常のご利用者の変化に気づけない時があった。 ・朝礼に参加が難しく、変化の把握ができなかった。 ・変化に気づいてもご利用者の気持ちに寄り添えないことがあった。 ・朝礼やカンファレンス時などを有効に活用することができたらよかった。その人のできることや強みをなかなか見つけることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者の日常の自然な表情、状況を写真に残し、機関紙にその表情を紹介することができる。 ○マップ化(見える化)されたご利用者の情報の中で、その方にとって暮らしの中で継続したい大切なことを支援することができる。(例:お墓参り、故郷に行く、使い慣れた物を使い続けるなど)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	12人	15人

前回の改善計画	・ご本人より知り得た情報を支援マップに直接記入することが難しかった為、新しいツール(スプレッドシートなど)を使ってみる。 ・スプレッドシートとは(スマホなどどこからでも入力でき常に最新のものをみんなが見れる。エクセルでプリントアウトできる。毎月の会議でプリントアウトしたものをみて振り返りを行う) ・毎月、ファイルの支援マップを最新のものに差し替えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・前回皆で、反省を生かし、スプレッドシートの活用を決めたが、決めただけで活用へのその後の投げかけ、行動が伴わなかった。 ・ファイルの支援マップも追記、更新していくことができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	5	4	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	4	3	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	9	4	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	8	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・取り組み当初はマップに記入はできた。・初回の支援から自分で関わらせていただいた方に関しての情報を理解することができた。・一部のご利用者の地域の方との関係性を理解し支援することができた。 ・ご近所の方と交流があった時には関係性を理解しながら円滑にコミュニケーションが図れるよう間に入ることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スプレッドシート活用への具体的計画が全く進まなかった。・支援マップの差し替え、活用もできなかった。・ご利用者の現在の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等の把握が十分でなかった。・目標の立案過程でその目標への具体的取り組み、行動計画が立てられなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者本人と関係のある方を知る。またその関係する方との関係性を理解する。それらの情報をご利用者ごとマップ化(見える化)し情報を整理する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	4人	2人	15人

前回の改善計画	・カンファレンスを水曜日14時〜に変更する ・テーマは基本的に支援マップを記入し習慣化していく、また、その時に必要な案件があればテーマとして挙げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・年度初めから前半はカンファレンスを開催することができていたが、後半定期的なカンファレンス開催の旗振り、段取りから進まなくなってしまう、職員間でも開催に向けた姿勢はみられなかった。 ・支援マップに記入は行動が伴わない職員が多く、活用もできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	8	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	12	1	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	11	2	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調の変化に応じて通いから泊りに変更して経過観察をしたりすることができた。 ・カンファレンスに参加することができた。 ・ご本人の日々の様子に関心を持ち、変化があった時には他職員と話し合い、意見交換することができた。 ・カンファレンスのテーマを事前に考えて臨むことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源を使っでの支援が不足していると感じた。 ・地域資源について知識の不足を感じる。また、人任せになっていた。 ・他に行うことが多すぎて、支援マップの記入、そして習慣化はできなかった。 ・現状の問題点の解決策を考えるカンファレンス内容に偏っていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○1～9の行動の中で得たご利用者を中心にした情報をカンファレンスを用いて整理し、実践へ展開することができる。 ・この5の改善計画の位置づけとして、集まった情報を基にその人の暮らしの支援、～したいことの実現、イベントへの展開に活かすことができる中核的な項目とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
6. 連携・協働	メンバー 黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	7人	5人	15人

前回の改善計画	・機関紙発行日(毎月5日)から2週間以内に配ることを目標とし、近くの配布先はご利用者様と一緒に配布する。 ・勤務表で配布する日(人)を指定して配るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・機関紙の手配りをご利用者と共に実行することができなかった。また、配布する日や人の指定することも決めていたが、実行ができなかった。・職員がなんとか配ることだけになっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	2	10	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	2	10	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	3	4	8	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	11	1	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・機関紙を配りに行く職員を「行ってらっしゃい」と送り出すことができた。・近所の小学生の子供たちや、近所の保育園の子供たちが登下校時や、散歩の時に立ち寄ってくださった。・事業所前で挨拶を交わすことができた。・地域ケア会議にケアマネとして参加できた。地域の清掃作業にも参加できた。夕涼み会を開催し、近隣の子供たちが大勢遊びにきてくださった。・シェルターで緊急受け入れの支援を行えた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自ら機関紙を配りに行くことができなかった。・配布する日や職員の指定はできなかった。・一人で忙しく配りに行きご利用者と一緒に配れなかった。・以前取り組んでいたスクールガードに出ることが難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者の主治医の医療機関、かかりつけ薬局などへ受診の際に、その機関の特徴、医者や看護師とのやりとりの様子や雰囲気、窓口、連携担当者、などを立ち会った職員がB0システムに記載する。 ・その情報をカンファレンス等の場で4の項目のマップに展開する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月10日（19：00～20：30） 令和7年2月13日（19：00～20：30） 令和7年2月17日（19：00～20：30）
7. 運営	メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村（彩）・中村（敦）・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0人	10人	5人	15人

前回の改善計画	・ひと月の製作目標を決める（20個/月） ・運営推進会議の内容等を全スタッフに周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・製作目標が明確にできなかったが、できる時に作業を継続し、ふるさと納税返礼品「よいどこい積み木」への注文（2024年度実績1件）、新規納品先への納品が1件、達成することができた。納品はご利用者と共に子供たちへ届けることができた。・運営推進会議は参加職員が固定化され、他の職員の参加が難しく、内容周知は口頭での伝達のみになっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	5	6	3	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	4	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5	4	4	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	5	6	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の家族などからの意見は他のスタッフと共有することができた。・製作は納品前に集中する傾向にあった。・積み木は数回取り組むことができた。・積み木を霧島市の児童発達支援事業所さんへご利用者と共に納品することができて喜んでいただけた。・ご利用者やご家族からの要望や意見があった場合にはその場で共有し改善に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・積み木作成に自分から進んで取り組むことができなかった。・他の業務を優先し、動き出すことができなかった。・製作目標を達成できなかった。・運営推進会議に参加していない職員に対する伝達方法が継続的に具体的に行動できなかった。・地域の方と関りを持てなかった。・中途入職の為に改善計画の理解に至らなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
○運営推進会議に職員とご利用者も参加できる場に行うことができる ・会議参加者のニーズを知る・地域の課題に目を向ける・ご利用者も地域住民として参加できることを考慮してテーマ設定を行っていく。 ○積み木プロジェクトの展開 ・これまで納品した保育園へ連絡し、メンテナンスさせていただき取り組みを行う。 ・新しい納品先を決定し納品する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	1人	15人

前回の改善計画	・IDOオンライン研修参加は継続していく。 ・法定研修以外の研修は自己選択ではなく、その職員に求められているテーマを選択して受講を決める。 ・当法人の事業所内研修も全員参加できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・IDOオンラインセミナーで毎月法定研修を受講し、学ぶことができた。・職員によっては法定研修以外の継続した学びのコースにも一年通して参加できた。・法人内の職員研修も計画的にテーマ設定しそこに参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	8	1	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	2	6	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	1	10	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	5	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・IDOセミナーの法定研修、その他のコースを受講することが一年通してできた。・ケアマネとして更新研修等受講できた。・法人代表して権利擁護推進員研修を受講し、その中で事業所の課題改善に取り組んだ事例報告をまとめ発表することができた。・九州エリアの小規模多機能連絡会の研修を受講することができ、他の事業所の取り組み事例が参考になった。・大分県の地域密着型サービス研修会に自分たちの取り組み事例を発表することができた。・霧島市地域密着型サービス事業所連合会主催の感染対策研修会に参加できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・リーダーとして他の職員の受講状況の確認や、必要時のフィードバックなどのサポートができなかった。 ・互いがどんな研修を受講しているのか把握、興味を持てなかった。・研修の学びを日々に活かすことができなかった。・自分が受けた研修や、受ける必要がある研修はなにか目標設定自体が難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○毎月の職員会議又は職員研修の中でミニ勉強会を開く ・日常のケア全般の中において学びたい内容を「研修チーム」が中心となり決めて準備し、月の職員会議、または職員研修でミニ勉強会を開催する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 実施 日	令和7年1月10日(19:00~20:30) 令和7年2月13日(19:00~20:30) 令和7年2月17日(19:00~20:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	黒岩・笠口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・繰・日高・東中道・桃木野・工藤・塩満・ハン・吉永・芝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	13人	2人	0人	15人

前回の改善計画	・職員間で情報を共有する時にプライバシーに配慮する(大声で話さない、配慮した合言葉を作る、話す場所を考える) ・ご利用者の立場になって身体介助を行う(排泄ケアや入浴介助等) ・尊厳を守った言葉遣いで接する(命令口調のような強い言葉、子供に使うような言葉は使わない。丁寧語をベースに状況によって鹿児島弁を使い分ける)
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束、虐待はなかったが、言葉遣いや声の大きさ、その内容や場面など配慮が足りなかった行動を職員間で振り返ることはできた。 ・今年度は権利擁護推進員研修にも参加しその中で現場の課題改善に向けた取り組みをチームで法人で実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	8	0	0	15
②	虐待は行われていない	7	8	0	0	15
③	プライバシーが守られている	4	9	2	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	4	8	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	10	1	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の尊厳が守られるように気をつけて接するようにしている。 ・個人情報が外部に漏れないように気をつけて業務している。 ・職員間で情報共有の際、プライバシーへ配慮している。 ・相手の立場に立つように心がけている。 ・職員間での会話の声の大きさ、その内容、場所をわきまえ、またご利用者へのトイレの声かけにも配慮している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度を理解していない。 ・プライバシーへの配慮を怠る時がある。 ・ご利用者の立場に立ち考えられない時があった。 ・ご利用者への声が大きくなったり、場所を考えていなかったり、言葉遣いに配慮できていない時があった。 ・ご利用者に「ちょっと待ってください」とつい言って、スピーチロックになっていなかったか気にかかることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○年に4回身体拘束等適正化・虐待防止委員会を開催する ・そのテーマは、日々のケアの中でこの課題に抵触する要素を含んでいるかもしれない具体的な事例を基に職員で検討を行うことができる。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

・同じ小規模として、自己評価の報告を聴きながら、自分たちの（自分の）自己評価になりました。
・スタッフさんの言葉が素直に書かれていたのがよかった。
・長年サービス評価のお話を聴いてきましたが、わかりにくいです。
・職員から出ている意見が数多くあり、その量からも自己評価に真剣に取り組まれている様子が伺える。
・よいどこいの柱（理念）が大切になされた上で評価に取り組んでいると感じる。
・評価実施日をしっかりと設けてあり全体の意見の集約と一人一人の意見が反映されていると感じます。（1回での意見ではなく、3回設けて意見が聞き取れる工夫）

【前回の改善計画に対して意見】

・マップづくりができなかったという反省を言われているが、実際の関りはいっぱいあったのだと思います。それを記録にできていないだけ、することが難しかったのではないかと思います。
・9の人権の項目では特に、「よくできている」という評価にならないといけないのではないのでしょうか。
・機関紙、SNS活用により、生き生きとした日常が伝わってくる。その内容は支援マップがあつてのことだと考える。支援マップへ抽出する事柄をスプレッドシートで集めるとのことだが、それをご家族も見れるのだろうか？

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

・具体的でありスモールステップを達成しながら職員一丸となって改善を図ろうとされていると考える。
・大変であると思いますが、「できなかった」という評価を「できる」方向への改善策をつくる必要がありますね。
・立案した改善計画を実際に実行する部分で、現実はその実行するところは簡単でなく、誰かが相当な牽引をしていかないとできないのではないのでしょうか？
・スタッフの専門職とそうでないスタッフの知識の差をどう揃えていくのか課題ですね。
・自己評価が低くなる場所は、人として、スタッフ一個人としての受け取り方になるので、自分は完璧ではないけど、例えば「何とかできている」という評価になるのではないかと。
・ミーティングがしっかりなされて情報共有のうえ、工夫されていると感じる。
・計画して実行しようと努力する姿こそ前進につながればよいですね。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・「人となり」の部分スタッフにどのように伝えたらよいか悩んでいます。（小規模事業所より）
・研修の担当はいるのか？➡法人の組織に研修グループを設けているが、あまり機能していない。
・9の自己評価の①～⑤の設問自体が曖昧ではないか。
・この仕事も、人権のところなど大切にしながらもご利用者やご家族などからの理不尽なこともあるのではないのでしょうか？➡様々な背景があられたりする。一人で受けないことも大切であり、事業所、行政、包括さん等と理解し合うことが必要と思う。
・認知症の人からいろいろと事情をうかがうことなど大変なことでしょう。
・ご家族の中には家族の認知症を認めない方もいたりしますよね。
・多種多様に動かなければならない中で理想通りには行動できない！わかります。

【改善計画】

○1～9の項目の改善計画を担当する班（チーム）が中心となり進めていき、毎月の職員会議の場で経過報告をする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	8	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いつもオープンであり声もかけやすい。
- ・用事があつてうかがった時、チャイムをならしていいか、迷うことがあります。
(呼びかけて忙しい時や奥にいらっしゃる時にチャイムを押した方がいいのか・・・と)

【前回の改善計画】

- 畑が新しい土地へ移動した事で地域の方の人の流れが変わった。それを強みとして交流を広げる。
- ウッドデッキを活用して開放的に地域との関わりを深める。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・開放的でやさしい空間になっていると感じる。
- ・いつでもウェルカムな雰囲気になっていると感じる。

【今回の改善計画】

- 事業所が外部からみられる環境を意識し、花などをご利用者と育てていくことを楽しむ。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	3
1	職員はあいさつできていますか？	7	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スタッフの参加は計画立ててシフト作成しての参加で、中には受け身での参加もおおいでしょうから大変ですね。
- ・相談にすぐ対応して頂けているので助かっています。
- ・継続されていることが大変素晴らしいと感じる。

【前回の改善計画】

- スクールガードを継続して、地域の行事（グランドゴルフ、清掃作業など）に積極的に参加する。
- 事業所の周囲の花の管理をご利用者様と一緒に取り組むことで地域とのつながりをもつ。
- 福森借家を地域の方との交流の場に活用する。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・公民館行事等いつも、ご協力に感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・様々なイベントを企画されていて忙しい中、すごいなと思います。

【改善計画】

- ご利用者、スタッフ、地域住民が触れ合える機会を大事にする。
- スクールガード、地域の行事清掃作業、夕涼み会等の継続。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	8	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	7	0	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・SNS，機関紙から地域の行事にも参加していることがわかる。
- ・インスタグラムが楽しみです。
- ・ワクワクを大切にされていると感じる。
- ・努力しておられるのであらうと思っています。

【前回の改善計画】

- 地域活動や他事業所との交流などアンテナをはり積極的に参加する。
- ご利用者様ごとにその時にしかできない事ややりたい事に対して行動する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・テーマからズレているかもしれませんが、通っている方々だけでなく様々な理由でその場から避難の必要のある方へのケアもされているのがすごいと思います。
- ・近隣にお住いの利用者と同伴し自由時間を大切にされている。

【改善計画】

- ご利用者の暮らしの様々な営みが可能となるよう、必要な人やモノや場所を一緒に考えて行けるようにする。
- 他事業所さんと共に活動する機会をつくりだす。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	0	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議では多くの地域の人に参加していたり、元利用者の家族も参加されている様子から地域にとけこんでいることが伺える。
- ・会に主席させて頂くと、他の事業所さんのことがわかり勉強になります。
- ・一つ一つを丁寧にされている。

【前回の改善計画】

- 運営推進会議に多くのメンバーが参加できるようにアナウンスを早めに行なう。
- チームでの取組みを意識して事業所側の参加メンバーも調整する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・地域の防災訓練について、運営推進会議に館長さんや、自治会長、民生委員さん方も参加くださっていることの強みも活かし、自分たちの足で地域を歩き、ハザードマップなどとも照らしながら危険個所や、想定される危険をイメージしていける取組みができればどうだろうか？

【改善計画】

- 運営推進会議に多くのスタッフが参加できるように計画し、地域の方と交流が図れるようにする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	0	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7	0	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	5	2	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・防災訓練に参加させていただきました。消火器の使用方法など再確認させていただきました。これからも積極的に参加していきたいと思っています。・災害の規模にもよるだろうが、簡易かまどなども揃えている事や行事での活用が災害時の地域への貢献の一つを担うのではないかと考える。・定期的実施されているので良いと思います。・地域の大切なことを頼まれる拠点になっていると感じる。・地域の防災訓練自体が実施されていない。

【前回の改善計画】

○実際に火事になった場合は地域、近隣の方の協力が必要になってくるので計画的にアナウンスして防災訓練を実施する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・火災避難訓練に参加し、避難する、させる人の問題、建物の構造の問題、があると思います。避難経路、方法、一時的、二次的な避難先などを明確にしておくことが必要。
 ・火災など火が出て、初期段階でどれだけ外部が手伝えるのか重要。実際に火事がおきてサイレンは聞こえど場所の特定ができない。また駆けつけてももうその時は何もできないので。
 ・自分たちが火を出さないことも大事だが、近所の火災でのもらい火も怖い。
 ・以前、車いすに乗せてもらって訓練に参加しました。高齢者の移動は大変だと思いました。靴を履く時間は無いと思うのでそのまま履かずに外へ出る訓練もあってよいかと思いました。

【改善計画】

○年2階の火災避難訓練、その他の地域の災害を想定した防災訓練に運営推進会議のメンバーさんと一緒に取り組むことができる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・ 事業所 の特徴	① 介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放 ② 管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。 ③ 霧島市まちかどまるごと相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。 ④ ライフサポートプランの導入。 ⑤ 霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。 ⑥ 加治木に同法人の事業所があり、互いに連携を図っている。 ⑦ 社会貢献活動の受け入れ ⑧ 学生の職場体験の受け入れ ⑨ スクールガードへの参加 ⑩ 向花小児童クラブとの交流 ⑪ 府中公民館・朝日自治会の加入 ⑫ 府中防災組織協力事業所 ⑬ 積み木プロジェクト（アイランドホーム・隼人工業高校と連携して積み木を保育園へ届ける事業）（霧島市ふるさと納税出品） ⑭ 霧島市緊急ショートステイ事業(高齢者虐待事例等)の受け入れ ⑮ 霧島警察署・霧島市役所からの DV 被害者や生活困窮者等について第一通報拠点としての役割を担い、一般社団法人サツマスタへ連携を行っている
事業所名	地域サポートセンター よいどこい	管理者	荳口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	5 人	人	1 人	1 人	3 人	4 人	人	15 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○MAP の見える化をより充実させるために、ケアマネのモニタリングを活用して事業所側、家族側の情報の共有をチームで取り組む。	○ご利用者の情報はあるのだが、マップに見える化する過程を踏むことができなかった。マップにする目的やその意味、実際できなかったことから、手ごたえを感じることでもできなかった。	・同じ小規模として、自己評価の報告を聴きながら、自分たちの（自分の）自己評価になりました。・スタッフさんの言葉が素直に書かれていたのがよかった。・長年サービス評価のお話を聴いてきましたが、わかりにくいです。・職員から出ている意見が数多くあり、その量からも自己評価に真剣に取り組まれている様子が伺える。・よいどこいの柱（理念）が大切になされた上で評価に取り組んでいると感じる。・評価実施日をしっかり設けてあり全体	○1～9 の項目の改善計画を担当する班（チーム）が中心となり進めていき、毎月の職員会議の場で経過報告をする。

			の意見の集約と一人一人の意見が反映されていると感じます。(1回での意見ではなく、3回設けて意見が聞き取れる工夫) ・マップづくりができなかったという反省を言われているが、実際の関りはいっぱいあったのだと思います。それを記録にできていないだけ、することが難しかったのではないかと思います。 ・9の人権の項目では特に、「よくできている」という評価にならなければいけないのではないのでしょうか。 ・機関紙、SNS活用により、生き生きとした日常が伝わってくる。	
B. 事業所の しつらえ・環境	○畑が新しい土地へ移動した事で地域の方の人の流れが変わった。それを強みとして交流を広げる。 ○ウッドデッキを活用して開放的に地域との関わりを深める。	○畑の場所が変わりましたが、それを使って交流が広がることは難しかった。 ○ウッドデッキは時に、積み木作りの場や、社会貢献活動、防災訓練、イルミネーション、夕涼み会、などに活用し、また日常もカーテンを開けて中から外から行き交う方が感じ取れるようにすることができた。	・いつもオープンであり声もかけやすい。 ・用事があつてうかがった時、チャイムをならしていいか、迷うことがあります。 ・開放的でやさしい空間になっていると感じる。 ・いつでもウェルカムな雰囲気になっていると感じる。	○事業所が外部からみられる環境を意識し、花などをご利用者と育てていくことを楽しむ。
C. 事業所と地域のかかわり	○スクールガードを継続して、地域の行事(グランドゴルフ、清掃作業など)に積極的に参加する。 ○事業所の周囲の花の管理をご利用者様と一緒に取り組むことで地域とのつながりをもつ。 ○福森借家を地域の方との交流の場に活用する。	○朝のスクーガード活動に参加が難しかった。その他のグランドゴルフや清掃作業などにはスタッフが参加することができた。 ○事業所前の花づくりをご利用者と一緒にすることができた。地域の方もホッとできる環境をつくりつづけた。 ○福森貸家はシェルターとして、また地域の方との運営推進会議の場所として活用できた。	・スタッフの参加は計画立ててシフト作成しての参加で、中には受け身での参加もおおいでしょうから大変ですね。 ・相談にすぐ対応して頂けているので助かっています。 ・継続されていることが大変素晴らしいと感じる。 ・公民館行事等いつも、ご協力に感謝しています。今後ともよろしくお願ひいたします。 ・様々なイベントを企画されていて忙しい中、すごいなといつも思い	○ご利用者、スタッフ、地域住民が触れ合える機会を大事にする。 →スクールガード、地域の行事清掃作業、夕涼み会等の継続。

			ます。	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	○地域活動や他事業所との交流などアンテナをはり積極的に参加する。 ○ご利用者様ごとにその時にしかできない事、やりたい事に対して行動する。	○他事業所さんにも声をかけて活動を共にしたり、地域密着型サービス事業所連合会の活動と一緒に汗を流したり、協力することができた。 ○その時、その時期、その瞬間だからこその活動や、その人の希望をできるだけ達成できるよう行動できた。	・SNS, 機関紙から地域の行事にも参加していることがわかる。 ・インスタグラムが楽しみです。 ・ワクワクを大切にされていると感じる。 ・努力しておられるのであらうと思っています。	○ご利用者の暮らしの様々な営みが可能となるよう、必要な人やモノや場所を一緒に考えて行けるようにする。 ○他事業所さんと共に活動する機会をつくりだす。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	○運営推進会議に多くのメンバーが参加できるようにアナウンスを早めに行なう。 ○チームでの取り組みを意識して事業所側の参加メンバーも調整する。	○運営推進会議メンバーさんと開催日程を決めて、2か月1回でいるようにした。 ○年度途中から新しいスタッフが参加することができた。	・運営推進会議では多くの地域の人が参加していたり、元利用者の家族も参加されている様子から地域にとけこんでいることが伺える。 ・会に主席させて頂くと、他の事業所さんのことがわかり勉強になります。 ・一つ一つを丁寧にされている。	○運営推進会議に多くのスタッフが参加できるように計画し、地域の方と交流が図れるようにする。
F. 事業所の 防災・災害対策	○実際に火事になった場合は地域、近隣の方の協力が必要になってくるので計画的にアナウンスして防災訓練を実施する。	○火災避難訓練に運営推進会議メンバーさんに参加していただいた。また、防災訓練も運営推進会議メンバーや近隣の事業所スタッフさんにも声をかけ参加していただけた。	・防災訓練に参加させていただきました。消火器の使用方法など再確認させていただきました。これからも積極的に参加していきたいと思っています。 ・災害の規模にもよるだろうが、簡易かまどなども揃えている事や行事での活用が災害時の地域への貢献の一つを担うのではないかと考える。 ・定期的の実施されているので良いと思います。 ・地域の大切なことを頼まれる拠点になっていると感じる。 ・地域の防災訓練自体が実施されていない。	○年2階の火災避難訓練、その他の地域の災害を想定した防災訓練に運営推進会議のメンバーさんと一緒に取り組むことができる。